



みんなの広場

↓漁港ならではの新鮮な魚介類を前に、会話も大いに弾みました。

10.5



祭りの夜空を彩った花火

港 秋の風物詩『波多津みなと祭り』
町にうれしい笑顔が集う

地元手作りのイベントで地域を活性化しようと、波多津漁港で『波多津みなと祭り』が開催されました。この日、台風接近の影響で海上イベント（ろ漕ぎレース、クルージング）は中止されたものの、市内外から約 3,500 人が詰めかけた会場内は、アトラクションや海鮮バーベキューで大盛況。祭りのフィナーレを飾る花火大会まで終日熱気であふれ、来場者は海の恵みに舌鼓を打ちながら、ぜいたくなひとときを心ゆくまで楽しんでいました。



『よさこい』を演舞する波多津保育園児



地元板木区の有志が『板木法行太鼓』を披露

守 さくら保育園児が交通安全パレード
ろう交通ルール、高めよう交通マナー

秋の交通安全県民運動に合わせて、山代町浦ノ崎地区でさくら保育園によるパレードが行われました。年長組の太鼓を先頭に、園児や保護者など約 60 人が保育園から浦ノ崎公民館までの約 1 ㎞を行進。途中、MR浦ノ崎駅前では歌も披露したほか、警察官の紙芝居で交通事故の怖さを学び、地域住民に交通安全の大切さを訴えていました。



9.27

↑地域住民に見守られながら、元気に事故防止を呼びかける園児たち

↓熱いステージを披露した西 慎嗣さん(左)と山崎まさよしさん(右)



10.16

夢 市制 60 周年記念 チャリティライブ開催
のセッションが実現した夜

伊万里の海とカプトガニの未来を考えるチャリティライブ『IMARI × MIRAI』が、市民センターでありました。伊万里市を拠点に活動した経歴を持つ西 慎嗣さん（長崎県松浦市出身）と友人が企画し、ミュージシャンの山崎まさよしさんや岡本定義さんなどに呼びかけ実現。市内外から約 550 人の観客が詰めかけ、3 時間に及ぶステージに酔いしれました。

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所情報広報課広報係までご連絡ください。(☎234313広報係直通)

日 がん予防をテーマに『いきいき健康づくりフェスタ』 ごろから自分の体を気遣うこと

いきいき健康づくりフェスタが、市民センターで開催されました。これは、市民の健康増進を図ろうと市が毎年行っているもので、今回はがん予防をテーマに、がん検診やがん予防料理の試食、麻木久仁子さんを講師に迎えた講演会などがありました。講演では、講師が自身の体験談を交えながら、来場者に検診の大切さなどを訴えていました。



9.23

↑「良いことも悪いことも生きているから感じられる」と話す麻木さん

↓鍋島家に伊万里焼を献上した伊万里鍋島焼協同組合の皆さん



10.11

窯 鍋島藩祭秋まつり『献上の儀』 元の伝統技術の粋と情熱を結集

伊万里鍋島焼協同組合による『献上の儀』が、佐賀藩祖の祭られている佐賀市の松原神社(佐嘉神社)で開催され、登り窯で焼かれた『色絵杏葉牡丹唐草文様瓶子』が鍋島家に献上されました。これは、『鍋島』を将軍家などへ献上していた先人の偉業に感謝するとともに、伝統技法を継承していくために、平成元年から行われているものです。

↓子どもたちに大人気だった福祉施設職員の手作り『バルーンアート』



10.12

ふれ『ボランティアまつり～ふれあい広場～』開催 『愛』でみんなに広げる助け『愛』

市民との交流を通して、ボランティア活動を啓発・推進しようと、市民センターで『市ボランティア連絡協議会創立30周年記念 第10回ボランティアまつり』が開かれました。会場内には、ボランティア団体による多彩な催しやバザー、体験・休憩コーナーが設けられ、台風接近による悪天候にもかかわらず、多くの家族連れなどでにぎわっていました。

環 『伊万里リサイクルフェア』は今年も大盛況 環境と財布にやさしい『リサイクル』

『第19回伊万里リサイクルフェア』が市役所車庫前でありました。これは、家庭で不用になった生活用品などのリサイクルを通して、ごみの減量化への理解を深めてもらおうと毎年開催されているもので、市内28の個人や団体が出店。日用雑貨や衣類、陶磁器などの掘り出し物が格安で手に入るとあって、多くの家族連れなどでにぎわいました。



9.23

↑所狭しと並ぶバザー用品の中から、お目当ての品を買求める来場者